

メダン総領事館・海外安全対策情報（2015年10月～12月）

1. テロ情勢

現時点で、当地において具体的なテロ脅威情報はない。しかし、9月にはI S I L機関誌「ダービク（第11号）」において、インドネシアに所在する日本の外交使節団が標的の例示として掲げられており、また、国内にはI S I L支持者等が存在するとされ、国内のI S I L支持者によるテロ計画の摘発も報じられていることなどから、テロ情勢には注意する必要がある。

2. 社会情勢

(1) 12月9日、インドネシア国内各地において統一地方首長選挙が行われたが、治安上の問題は見受けられなかった。

(2) メダン市やバタム市等では、10月上旬から12月上旬にかけて、2016年の最低賃金値上げ要求及び燃料費補助金削減に反対する大小規模の労働者デモが行われた。デモが行われた官公庁付近等では渋滞が発生したが、特段治安への影響は認められなかった。

3. 治安情勢

(1) 依然としてメダン市及び近郊では、バイク使用による路上強盗、侵入強盗、薬物事案等の凶悪犯罪が多く発生しており、治安は悪い状態にある。特にバイク、三輪タクシー、徒歩で移動する際は犯罪被害に遭う可能性が高くなるため、可能な限り比較的 안전한車での移動を心掛けるなど、外出の際は十分な注意が必要。

(2) また、通常、犯罪者は凶器を持っているため、犯罪被害に遭った際は好戦的な態度は避け、身の安全を最優先した対応が求められる。

4. テロ・爆弾事件発生状況

関連事件は発生していない。

5. 誘拐・脅迫事件発生状況

関連情報はない。

6. 対日感情

対日感情は基本的に良好であり、特段の変化は見られない。

7. 日本企業の安全に関する諸問題

関連情報はない。

以上